

# 平成29年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立吹上小学校
作成日	平成30年(2018年)3月1日

## 1 教育目標

新しい時代を切り拓く、心豊かでたくましい人間を育成する  
 (ふ)深く考え、進んで学ぶ子 (き)気概をもち、めあてに向かって働く子  
 (あ)あたたかい心をもち、なかまとみがきあう子 (げ)元気いっぱい、体をきたえる子

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校開放日も多く、保護者や地域の方誰もが子供たちの様子を見に来られるのがよい。</li> <li>○ 学校での書道教室の開催など、保護者の学ぶ場が設定されているのがよい。</li> <li>○ 家庭や地域と連携して取り組む機会が生かされていると思うので、特に異議ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 異年齢での縦割り活動の歴史は長く、現在も積極的に取り組んでいるので、子供たちは仲がいいのだと思う。高学年と低学年がお互いを本当によく認識しているなあと感じることが多い。</li> <li>○ 公共の場での遊び方を含め、児童の規範意識をより高めていってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 間違っていないから、思ったことや考えたことを発表できる子供を育てるには、教員のゆったりとした指導が必要になる。</li> <li>○ 自分の考えを「かく」「説明する」活動を効果的に行うための授業改善については、さらに研究を進めてほしい。</li> </ul>
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 週末に発行している各学年のお便りで、子供の様子を知ることができてうれしい。</li> <li>○ 学校運営協議会では、日頃の気になる点について自由に発言できる雰囲気がいよい。</li> <li>○ 学校の外の掲示板に、毎月の学校便りを掲示してくれているので、時々立ち止まって見えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 異年齢の縦割り活動である「なかよし活動(清掃活動・遊び)」を通して、よい意味での縦の関係ができていていると感じる。</li> <li>○ 登校しにくい子供の支援については、それぞれの原因や理由は多様であると思うので、スクールカウンセラー等とともに一層細やかな対応をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ペーパーで把握できる学力も大切だが、絵を描くことや詩を書くこと、歌を歌うことや楽器を演奏することなど、心を豊かにする教科にも力を注いでもらいたい。</li> <li>○ 時代の変化に合わせた「学力」という視点を大切にされた学校教育活動の在り方を追究していってほしい。</li> </ul>
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供が、語りの森の方のお話の時間を大変楽しみにしている。土曜チャレンジスクールでも、子供の興味関心を広げる活動に取り組んでいただいた。</li> <li>○ 「子供たちのために」と、本当に多くの保護者や地域の方が熱心に学校に向いてくれるのがとてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年生は1年生とペアになって活動することで、責任感も出て、自己肯定感につながっていると感じる。</li> <li>○ 自分の事を認められる子供(人)は、他人の事もしっかりと認めることができる人だと思います。子供たちには何か一つ自信を持たせてあげたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校での学習が社会に出たときに役立つと実感できることが大切である。例えば、英語学習でネイティブとふれあうことでその実感が持てるのではないかな。</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査での高い正答率や低い無回答率の結果から、児童一人一人が、自分で考え粘り強く問題に向き合う姿勢が育っていると感じる。</li> </ul>
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月難しいかもしれないが、年に一度くらいは「学校だより」や「保健室だより」等の内容を、地域に回覧してはどうか。</li> <li>○ 美術館を使って多くの美術品に出会ったり、舞台での劇や音楽家に接する時間を持てるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書や話し合いなど、外部との対話を通じて、辛い思いをしている人の思いに寄り添う心を学んでほしいと願う。</li> <li>○ インターネット使うことで手軽に情報を得ることができる時代になったけれど、性のことは信頼できる大人がきちんと本当のことを子供たちに伝えてあげてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校図書館に司書を配置してほしい。</li> <li>○ 教員が教えることに専念するためには、他の校務の内容を洗い出し、より地域や保護者と連携しながら教育活動を進めていく必要がある。</li> </ul>

## 3 その他のご意見

○ 一人一人の子供の特性を見い出して、ほめ、伸ばし、励ます。そのような地道な取組が教育の真髄であると思う。  
 ○ 公園のとなりの地区連絡所に、本校の児童がよくトイレを借りに来るが、「ありがとうございます」「おじゃましました」と、どの子供も明るくあいさつしてくれるのがうれしい。  
 ○ 普通教室へのエアコンの設置は大変喜んでいる。暑さ対策はもちろんだが、冬の寒さへの対策も必要ではないか。